



楠隼Letter

～ 来たるべき日のために ～

鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第56号
令和6年5月発行



自顕流体験（中学1年生）

5月11日（土）、中学1年生は毎年恒例となっている自顕流体験活動が始まりました。最初は、師範の先生から自顕流の歴史について講話をいただき、その後、実際に練習に取り組みました。自顕流という独特の構えから大きく発声をして横木を叩くという行程に最初は戸惑っていた1年生でしたが、後半になると徐々に声も出始め、元気に初日の活動を取り組むことができました。これからあと2回練習をしていくことになります。どのように成長していくのか非常に楽しみです。この中学1年生の頑張りの成果は九月の体育祭にて披露されますので、ぜひご期待ください。



一日遠足（高校）



高校1年生は、南大隅方面に行きました。はじめに、雄川の滝では、溪流の音に癒されながら遊歩道を歩き、滝壺を眼前に眺められる下流展望所で集合写真を撮りました。大自然に囲まれ癒しのひとときを過ごすことができました。午後は南大隅町体育館でバスケットボールやドッジボールなどのレクリエーションを行い、大いに盛り上がりました。

高校2年生は、桜島方面に行きました。はじめに、桜島国際火山砂防センターでは、展示やVR映像により土石流災害や砂防について学ぶ貴重な機会を得ることができました。その後、湯之平展望所へ行き壮大な桜島を背景に集合写真を撮りました。その後桜島ビジターセンターで昼食をとった後、村山陶芸で陶器作りを行いました。一人一人が丹精込めてオリジナルの皿やコップなどを作り上げました。

高校3年生は、大隅広域公園に行きました。はじめに、荒平天神で合格祈願を行い、集合写真を撮りました。その後大隅広域公園に移動してレクリエーションや公園散策などを行いました。午前中は、室内アリーナや屋外運動場でフットサルやバスケットボール、サッカーなどを行い、午後は、公園やゴーカート、球技などでそれぞれが自由時間を楽しみました。

各学年が様々な学びや体験をし、思い出に残る一日となりました。